

ベンチャーサポートプログラム応募者 募集

技術シーズのプロジェクト化をサポートします！

阪大VBLベンチャーサポートプログラムの概要

《エントリー内容に合わせたサポートプログラム》

1. 事業プランをお持ちの若手研究者
⇒プロの投資家、起業家達とのブラッシュアップ
2. 技術シーズを実用化したい若手研究者
⇒研究開発費の調達をサポート
⇒共同開発企業とのマッチング

《助成内容》

- ・最優秀賞：100万円の研究助成およびスタートアップ支援室によるサポート
(①助成金申請サポート&②共同開発企業との提携交渉)
- ・優秀賞：50万円の研究助成およびスタートアップ支援室によるサポート
- ・サポート賞：スタートアップ支援室によるサポート

サポートプログラムスキーム

① 研究開発のための助成金の申請をサポートします

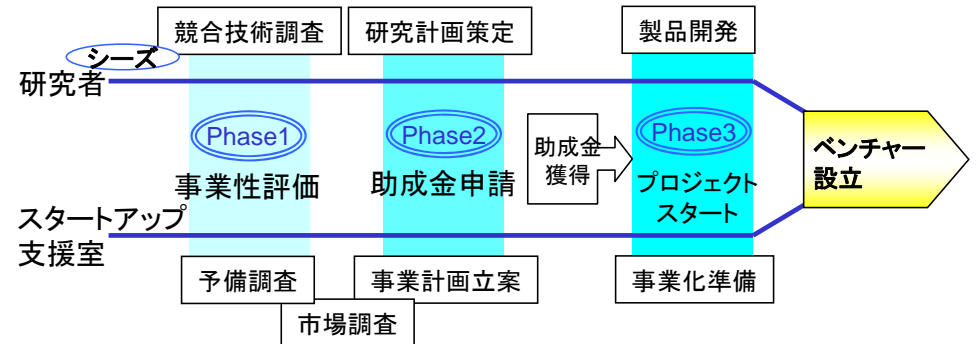
自分の研究成果をビジネス化したいと考える研究者の実用化研究開発費の資金調達をサポートします。この研究費によって研究者技術のフィージビリティスタディ、試作品の作成等を行いシーズの価値を高めることが可能となります。

② 様々な助成金の申請をサポートします

- NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)
 - ・産学連携による実用化開発を支援する「大学発事業創出実用化研究開発事業」
 - ・研究開発型ベンチャーを支援する「産業技術実用化開発助成事業」
 - JST(科学技術振興機構)
 - ・大学発ベンチャー創出推進事業
- など様々な助成金の申請をサポートします。

③ 市場調査、事業計画の策定、企業との提携交渉等のマネジメント実務をサポートします

実用化を目指した研究を行う場合、研究と平行してターゲットとする市場を分析し、事業計画を策定しなければなりません。それにとまなう実務をVBLサポートオフィスが客員研究員と連携しサポートします。研究者を出来る限り研究以外の実務から開放するよう努力します。



応募概要

- 【応募資格】 大阪大学に籍を置く研究者
- 【募集期間】 2006年8月14日(月)～2006年10月14日(土)
- 【実施期間】 採択決定日より1年間
- 【助成金】 最優秀賞(1枠):100万円、優秀賞(1枠):50万円、サポート賞(1~2枠)
- 【助成金の使途】 賞金としてではなく校費を使用し調査・研究を行う(校費の性格上、2006年度内に執行すること)。
- 【応募方法】 申請書を郵送、E-mailによりVBLに提出(申請書はVBL事務局より配布、ホームページからのダウンロードも可)。
- 【審査と発表】 各審査委員による書類審査を経た後、10月中旬にヒアリングを実施予定。
- 【成果報告】 選考結果はホームページに掲載。
実施期間終了後、報告書の提出と公開の場での発表を行うこと。
- 【審査委員長】 小林敏男 VBL部門長(経済学研究科教授)
- 【審査委員】 伊東一良 VBL部門研究プロジェクト委員会委員長(工学研究科教授)
座古勝 VBL部門教育社会貢献委員会委員長(工学研究科教授)
兼松泰男 VBL部門教授

申請書は大阪大学VBLホームページをご覧ください

<http://www.handai-vbl.net>

■ お問い合わせ

大阪大学 先端科学イノベーションセンター
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー部門 スタートアップ支援室
担当：樋口(ひぐち)
〒565-0871 吹田市山田丘2-1
tel: 06-6816-9325 / fax: 06-6816-9326
E-mail: higuchi@casi.osaka-u.ac.jp